

「生命（いのち）の安全教育」実践事例

活動名	「性教育講演会」		
学校名	神奈川県立厚木北高等学校		
学年	1 学年	人数	278 人
日時	2025 年 7 月 17 日（木） 10 : 50 ～ 12 : 42		
取扱いの分類	講演会（オンライン）		
講師	一般社団法人おもしろ健康教育研究所 高橋 佐和子 氏（神奈川県立保健福祉大学 准教授） 伊藤 純子 氏（静岡県立大学 講師）		
学習のねらい	性感染症や多様な性など、性に命の大切さについて理解する。 性に関する正しい知識を身に付け適切な意思決定や行動選択をとれるようにする。		
内容	【講演内容】 ○講師が伝えたい第一のことは「自分を大切にする」ということ。 ・そのために、避妊方法や妊娠後についてなど、性の知識をしっかりと身に付けること。 ・自分が困ったときに、相談する勇気と、相談できる大人をもつことで、早期解決につながるだけでなく、心への負担も減る。 ・断るコミュニケーション方法をしっかりと身に付けることが、我慢をしたり、相手に理解を促したりするには大切である。〈講師がロールプレイングで演じる⇒説明〉 ○インターネット等で性に関する情報が溢れている今、それを実際にどう付き合っていくか、性に関する問題に対してどう対処するか、防いでいくかという実践的な側面を指導していくことが、生徒の実践に繋げるには必要である。		
成果 （児童・生徒、教職員の感想等）	（生徒感想）説明ばかりだけでなく、明るくお芝居を混ぜて楽しく、でも真剣な内容を伝えてくれたところが良かった。自分を守るために必要なことだったり断ることが大事だとわかりました。他人事として考えてはいけなさと改めて思いました。 （教職員感想）性に関する正しい知識を、映像、音楽、流行りのネタを使いながら、ロールプレイングで講師がダイレクトな表現でありながら、面白おかしく演じることで、生徒は飽きずに大切なことを学ぶことができた。		
課題	オンラインでの講演会であったため、電波の関係でところどころ見えにくくなったり聞こえにくくなったりした場面があった。講演会で終わりにならないよう継続して意識させることが必要。		
学校全体での取組や工夫 （予定も可）	1 学年のみの講演会であるため、2 学年、3 学年においても関わる教科やホームルーム等で「生命の安全教育」を実践しているが、今後は生徒の主体的な学びとなる工夫が必要である。		